

1919
D(0423)

コンドロイチン配合ビタミン剤
グルコサミン塩酸塩（緩衝剤）

ケロリンコンドロDX α



神経痛・関節痛・腰痛・肩こり・眼精疲労

●ビタミンB₁主薬製剤●

【特徴】

《ケロリンコンドロDX α 》は、コンドロイチン硫酸エステルナトリウムをはじめベンフォチアミン（ビタミンB₁誘導体）・ビタミンB₂・ビタミンB₆・ビタミンB₁₂・ビタミンEを配合したカプセル剤です。また、緩衝剤として「グルコサミン塩酸塩」を配合しています。

●3つのビタミンが、神経・筋肉系に作用

ケロリンコンドロDX α には「持続型ビタミンB₁誘導体」「ビタミンB₆」「ビタミンB₁₂」が配合されています。これら3つのビタミンBが神経機能の改善、傷ついた神経の修復、末梢神経の再生など神経・筋肉系に作用して、疲れを癒し痛みをとってくれます。

●疲れた体にビタミンB₂

体内のエネルギー産生を助けます。ビタミンB₁と協力して脂質、タンパク質、炭水化物をエネルギーに変換する際に必要な栄養素で、疲れた体にすぐれた効果をもたらします。

●血管系に働きかけるビタミンE

「天然型ビタミンE」は血管系に作用して血管の老化を防いだり、血液中の脂質を改善して血液の粘りを調節する働きがあります。そのため血液の流れが良くなり、神経や筋肉組織に酸素や栄養がスムーズに届けられ、つらい症状や疲れをほぐしてくれます。

●関節の痛みを改善するコンドロイチン

関節部分のスムーズな動きを助け、潤滑油の役目を果たす成分コンドロイチンを補うことにより、円滑性を与え、関節の痛みを和らげます。



使用上の注意

相談すること



1. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるため、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
消化器	吐き気・嘔吐

2. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。 軟便、下痢
3. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

■ 効能又は効果

次の諸症状の緩和：神経痛、筋肉痛・関節痛（腰痛、肩こり、五十肩など）、手足のしびれ、便秘、眼精疲労

脚気

「ただし、これらの症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師又は薬剤師に相談すること。」

次の場合のビタミンB₁の補給：肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時

■ 用法及び用量

次の量を、1日3回朝昼晩服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
大人（15歳以上）	1～2カプセル	3回
7歳以上15歳未満	1カプセル	
7歳未満	服用しないこと	

（用法及び用量に関連する注意）

- (1) 本剤は、用法及び用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

■ 成分及び分量 1日量（6カプセル）中

ベンフォチアミン（ビタミンB ₆ 誘導体）	138.3mg
酢酸d- α -トコフェロール（ビタミンE）	100.0mg
リボフラビン酪酸エステル（ビタミンB ₂ ）	12.0mg
ピリドキシン塩酸塩（ビタミンB ₆ ）	50.0mg
シアノコバラミン（ビタミンB ₁₂ ）	60.0 μ g
コンドロイチン硫酸エステルナトリウム	900.0mg

添加物として、グルコサミン塩酸塩、ゼラチン、D-マンニトール、バレイシヨデンブ、ステアリン酸Mg、ラウリル硫酸Na、その他4成分を含有します。

（成分に関連する注意）

本剤の服用により尿が黄色くなることがありますが、リボフラビン酪酸エステル（ビタミンB₂）によるものですから心配ありません。

■ 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わる。）。
- (4) 本品は吸湿性が高いので、ピンのフタのしめ方が不十分な場合、湿気等の影響で薬が変質することがありますので、服用のつどフタをよくしめてください。
- (5) 開栓後は、品質保証の点から、6ヵ月以内にご使用ください。
- (6) 使用期限のすぎた製品は服用しないでください。

